

2010年6月1日

各位

財務担当理事

黒須 潤

学校法人三育学院の2009年度決算報告の概要について

学校法人三育学院は、大学から幼稚園までを設置する学校法人です。法人の中の三育学院大学、三育学院短期大学、専門学校三育学院カレッジは、千葉県に設置され、資金収支計算書及び消費収支決算書などの約半額を含めています。

高等教育機関のなかでも、三育学院大学（看護学部看護学科。なお、開学に伴い、三育学院短期大学看護学科は募集停止。また専攻科〈地域看護学専攻〉は2010年度をもって学生募集停止。）は、2007年12月3日、文部科学大臣より設置認可され、2008年4月に三育学院大学は開学しました。2009年度は大学設置二年目の年であり、学年進行中（完成年度は2011年度）の大学です。

2009年度は、大学設置に伴う校舎建築や備品購入などの大学創設費関係の支出は、殆どありませんでしたが、大学の教職員スタッフはほぼそろっており支出の部の人件費はほぼピークにさしかかっているのに対し、収入の部の補助金（国からの国庫補助金など。短大の補助金は大学設置に伴い学生募集停止を行っている事から補助金対象外となります。）は、大学の在学年度2学年分が対象となることから、特殊な会計年度であるといえます。この関係は、完成年度の2011年度まで続くことが予想され、学校法人三育学院の財務諸表をご覧になる場合は、この点を加味していただく必要があります。

主な計算書の概要は次の通りです。

A. 貸借対照表

貸借対照表は、会計年度末の資産・負債・資本の状況を示す計算書です。法人全体でどれだけ資産、負債などを持っているかを見ることができる指標です。

2009年度末の資産額は約80億円です。資産は約1.4億円減少していますが、この減価は、建物や構築物、車輛・備品などの固定資産の減耗分です。負債額は約5.3億円です。負債額の内、大学・短期大学、専門学校の長期借入金などの負債はありません。約3千万円の長期負債は法人傘下の初等教育機関の校舎建築などに伴う借入金で、計画通り返済しています。負債額の大半は、短期負債であり、年度もまたぐために生じる未払金及び授業料の前受け金などです。

B. 消費収支計算書

消費収支計算書は、企業会計の損益計算書に相当します。これらの計算書は1年間の費用と収入の計算をまとめた指標です。

消費収支については、帰属収入が14.7億円、消費支出が15.6億円で、約1億円の支出超過（赤字）となっています。赤字額の殆どは三育学院大学・三育学院短期大学・専門学校三育学院カレッジなどの高等教育機関の支出超過分(1.1億円)です。大学認可申請の際、文部科学省に提出した当初の予算額では、2009年度は約2億円の赤字を計上していましたので9千万円改善していることとなります。この大学・短期大学の赤字額については、学年進行が進むにつれて徐々に改善し、完成年度の2011年度には黒字となることが予想されています。

C. 財産目録

貸借対照表をまとめたものです。

以上